平成29年度　指導と評価の年間計画

（大阪府立西淀川高等学校　全日制の課程　普通科）

科目（教科）	単位数	学年	教科書名（出版社）	副教材名等（出版社）
日本史B(地理歴史)	2	3	新選日本史B（東京書籍）	なし
担当者より	歴史は暗記しないといけないと言うことではなく、ストーリーがあるのだということを理解して欲しいです。常に「なぜなのか」ということを考えながら授業に臨んでもらえたらと思います。			

到達目標 【学習指導要領】	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ，我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

評価の観点	観点の趣旨	評価方法
①関心・意欲・態度	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	プリント提出 授業態度
②思考・判断・表現	我が国の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	プリント提出 授業態度 授業中の発言
③資料活用の技能	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	授業プリント 授業態度 定期考査
④知識・理解	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。	授業プリント 授業態度 定期考査

学期	単元・教材名	評価のポイント					指導と評価	評価方法
		①	②	③	④	—		
1学期	開国から明治維新へ	◎	○	○	○		開国と幕府の滅亡から明治政府の成立と日本の近代国家としての改革を考察させる。	プリント提出、考査 授業態度
	立憲政治の形成と国民文化	◎	○	○	○		文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化，自由民権運動と立憲体制の成立に着目して，明治維新以降の我が国の近代化の推進過程について考察させる。	プリント提出、考査 授業態度
	日清戦争と東アジアの変容東アジアの変容	◎	○	○	○		条約改正，日清戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移に着目して，我が国の立憲国家としての展開について考察させる。	プリント提出、考査 授業態度
	「中国分割」と日露戦争	◎	○	○	○		戦争に至る過程や，日露戦争後我が国が韓国併合や満州（現在の中国東北地方）への勢力の拡張などを通じて植民地支配を進めたことを，国内政治の動向や英露の対立などの国際環境と関連させながら考察させる。	プリント提出、考査 授業態度
2学期	第一次世界大戦と日本	◎	○	○	○		国際社会の中の日本の立場に着目して，第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察させる。	プリント提出、考査 授業態度
	新たな国際秩序と日本への影響	◎	○	○	○		ワシントン体制など国際的な協調体制，中国・朝鮮ほか世界的な民族運動の高揚などに着目して，国際社会における日本の立場や対外政策の変化ついて考察させる。	プリント提出、考査 授業態度
	日中戦争と国内体制の改編	◎	○	○	○		国際社会の動向，国内政治と経済の動揺，アジア近隣諸国との関係に着目して，対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦とのかかわりについて考察させる。	プリント提出、考査 授業態度
	太平洋戦争	◎	○	○	○		太平洋戦争が世界の諸国家・諸民族に未曾有の惨禍をもたらし、人類の文化と生活を破壊したことに着目させ，平和で民主的な国際社会の実現に努めることの重要性を自覚させる。	プリント提出、考査 授業態度
3学期	占領と国内改革	◎	○	○	○		民主化を進める戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定，平和条約の締結と独立への過程を考察させる	プリント提出、考査 授業態度